

## 倫理と歴史的正義

*Historical Justice and History Education* (pp. 195-212). Palgrave Macmillan, Cham.

Part II Historical Justice in Public History Spaces 10 Ethics and Historical Justice

### ■ 著者：Göran Collste（Linköping University）

・倫理学と応用倫理学の問題を扱い、グローバルな正義、人間の尊厳の原理、労働倫理、情報通信技術に関する倫理問題などに関する書籍や論文を執筆している。東アフリカの大学院の学生を対象とした研究学校の建設にも関わっている。Cf：<https://liu.se/en/employee/gorcol1>

### ■ 代表的な著書

・Collste, G. (2014). *Global rectificatory justice*. Springer.

### ■ 用語

・歴史的正義の議論では、「是正的正義（rectificatory justice）」、「矯正的正義（corrective justice）」、「補償的正義（compensatory justice）」、「賠償的正義（reparative justice）」、「修復的正義（restorative justice）」という用語が使われている。本章では、「是正的正義」を使用している。

-----

**概要と結論：**本章では、歴史的・倫理的な探求の必要性を示した近年の歴史的正義に関わる三つの事例を紹介し、歴史的正義が提起するいくつかの倫理的な問題について論じ、最後に歴史的正義が学校でどのように扱われることができるかについて論じている。歴史的正義は学際的なテーマであり、歴史的正義を教えることは、生徒の歴史意識を高め、正義や公平、和解などの重要な政治的価値について道徳的な反省や倫理的な分析を必要とする。

-----

### ■ 議論の提案

- ①歴史教育も「社会的な真空状態」のなかで行われるものではない。であれば、歴史教育に関わる者が従わなければならない規範とは何だろうか？
- ②「過去の不正は現在に道徳的に関連する何らかの残響を残すものでなければならないという要件は、ある歴史的な害が時間とともに薄れ、その結果、是正の理由が少なくともそれが消えてなくなるまでどんどん弱くなるということを意味している」(p.205)を踏まえると、不正に対して声を挙げることや問題の認識を共有することが重要である。このことに学校教育はどこまで関与できるか？

#### 1 イントロダクション (p. 195-)

・近年、歴史の正義、是正、賠償を求める多くの主張が見られる。それらの主張は、過去の不正義に言及している点、過去の不正義が現在に影響を及ぼしている点で、共通している。

・「過去は決して死なない」。だからこそ、被害者は歴史的正義を主張する。

・歴史的な不正義は、歴史的な証拠や事実の問題と、罪悪感と責任のバランスをどうとるかという問題の両方を提起する。真実（何が本当に起きたのか）と解釈（誰が責任を負うのか）という両方の側面が重要となる。

## I・HEAP

## 2 Claims for Rectification After Colonialism: Three Cases (p. 197-)

(1) カリブ海の事例 (pp. 197-198)	(2) ケニアにおけるマウマウの事例 (pp. 198-199)	(3) フランスの美術館における アフリカ美術の返還事例 (pp. 200-201)
<p>・2013年、カリブ海共同体（CARICOM）の政府首脳は、先住民の大量虐殺と植民地時代の奴隷制と奴隷貿易に対する賠償を要求する宣言を発表した。さらに、ヨーロッパ諸国は「奴隷制の後遺症でいまだ荒廃しているカリブ海の貧しいコミュニティの生活改善を支援する開発戦略を考案する」べきだと主張した。</p>	<p>・2011年、4人の高齢のケニア人がロンドンを訪れた。彼らは、1950年代にケニアで起きたマウマウ団の蜂起に対する戦争で、英国に拘束されたケニア人囚人の数人であり、植民地戦争での残虐行為について、英国政府へ裁判を起こすことを目的とした。</p> <p>・71,000人のキクユ人（キクユ人の成人男性の8人に1人）がイギリスの刑務所や収容所に拘束された。</p> <p>・収容された人々は嫌がらせを受け、殴られ、拷問され、イギリスの野党政治家は収容所を「ケニアのベルゼン」「ケニアのマウトハウゼン」と名付けた。</p>	<p>・2017年、フランスのマクロン大統領がアフリカの文化遺産のアフリカへの返還について宣言し、フランスの美術館にあるアフリカ美術の調査を開始した。</p> <p>・2018年の報告書で、フランスの美術館にはアフリカ美術品が約9万点あり、そのうちパリのケ・ブランリー美術館には7万点あることが判明。</p> <p>・フランスの美術館に所蔵されているアフリカ美術品の約3分の2は、1960年以前の植民地時代に取得されたものである。</p>

## (1)・(2)で歴史家の果たした重要な役割

・ベックルズ（Hilary Beckles）は著書で、先住民が植民者によっていかに虐殺されたか、奴隷制度と奴隷貿易に基づく綿花経済がいかに英国を豊かにし、カリブ海の島々を貧困に陥れたかを述べている。

・エルキンス（Caroline Elkins）は、戦争を目撃したケニア人にインタビューし、著書でイギリスの植民地戦争の失われた歴史を語っている。また、アンダーソン（David Anderson）は、英国政府によって半世紀以上隠されていた、1950年代のケニア非常事態におけるマウマウの戦士に対する組織的な拷問と虐待を詳述した文書を発見した。

## (3)から提起される倫理的な問題

・歴史的な不正の後の是正や盗まれた美術品の返還は、どのような条件下で道徳的に正当化されるのか、そして、公平と正義はどのようにして実現されるのか。

## 3 The Interdisciplinarity of Historical Justice (p. 201-)

## ■ History (pp. 201-203)

- ・三つの事例の全てで歴史家が重要な役割を果たしている（歴史的調査の必要性）。
- ・全ての歴史的な誤りが、是正を求める主張の根拠となるわけではない。
- ・「現在も生きている個人の生活に影響を与える、あるいは、歴史的な不正義の犠牲者の子孫に影響を与える過去の誤りだけが、今日、是正の可能性を提起する」（Collste, 2015）

→歴史的に起こったことと現在の状況の因果関係の問題や、是正を求める要求を正当なものとして裏付けるには、どの程度の確信が必要なのか（Winter, 2006）という問題。

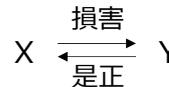
・歴史学は批判的な学問であり、客観性と包括性という学問的規範に従わなければならない。しかし、歴史的正義の主張の歴史的な背景を調査することは、歴史家の職業倫理に関わる。歴史的な調査は社会的な真空状態で行われるものではなく、現実の世界の中で行われることだからである。歴史家は、どのように専門規範とのバランスを取るべきか。

→「歴史の正義（history's justice）」を探求するとき、歴史家は倫理学者を伴うことができる。

I・HEAP

■ Ethics (pp.203-204)

- ・歴史的正義について悩ましいのは、被害者が是正の主張を提起し、加害者が是正の義務を負うため。
- ・歴史的正義の問題は倫理学にとっても課題である。
- ・歴史的正義の主張→過去の不正が現在の正義の議論に影響を及ぼす。
- ・是正的正義の構成要素のモデル



X (代理人：人，集団，国家など) は，t1 (時間) において，Y (被害者：人，集団，国家など) に対して A (害：搾取，盗み，抑圧，殺害など) を行った。
是正的正義は，t2 において，以下を要求する。
i. X は，t1 において Y に与えた損害 (A) を認めること。
ii. X は，Y (又は Y の子孫) に B (価値あるもの：金銭等) を補償するか，t1 で奪われたものを返還すること。

事例(1) カリブ海の事例	事例(2) マウマウの事例	事例(3) 美術品盗難の事例
植民地勢力は，奴隷貿易の時代に奴隷と植民地を搾取した。	イギリスは，1950 年代にケニアで起きた反乱を鎮圧し，多くのマウマウの支援者を強制収容所に投獄した。	フランスをはじめとする植民地勢力は，植民地から美術品を移送し，自国の美術館に収めた。
是正的正義は，搾取を認め，奴隷時代の結果に今も苦しんでいる奴隷の子孫に補償することを要求している。	是正的正義は，英国が弾圧を認め，投獄されたマウマウの支援者とその子孫に補償することを要求している。	是正的正義は，盗まれた美術品を元の場所に戻すことを要求している。

3 When Is Rectification Needed? (p.204-)

- ・歴史的正義の基準：歴史的な損害が，現在に何らかの道徳的な残響 (reverberation) を及ぼしていなければならない (過去に起こったことの結果として被害を受けた現代の人々がいる) 場合にのみ，その是正が必要となる。
- ・歴史的正義と「意図性」との関係：不正から受益を得る者と被害者の間には規範的なつながりがある。そのため，過去の行為による有害な結果に気付いた時，道徳的な意識があれば (意図的ではなかったとしても) 何らかの形で是正する義務があると感じる。  
 正当な理由があり，X が気付かなかった・意図していない場合→ 道徳的に非難される理由はない。  
 しかし，損害を与えたという事実により救済責任を負うことになる (是正の理由が発生する)。

4 Why Is Rectification Needed? (p.206-)

- ・最も重要な理由は，是正は，正義を実現する方法である (Cf. Rawls, 1973)
- ・また，理想的には，是正は，和解につながる。
- ・和解が達成される場合 (Thompson, 2002)

個人や国家の間に存在すべき尊敬と信頼の関係に対して，不正によってもたらされた損害が，加害者によって修復または補償され，この損害がもはやこれらの関係を確立するあるいは再確立する妨げになるとはみなされなくなった場合。
--

- ・是正的正義は，本質的な価値としての正義の実現，道具的価値としての関係性の改善，の両方を持つ。

5 Cases of Rectification (p.207-)

## I・HEAP

- ・三つの是正的正義の主張の事例に対して、どのような対応がなされたか？

事例(1) カリブ海の事例	事例(2) マウマウの事例	事例(3) 美術品盗難の事例
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの旧奴隷貿易国の多くは、CARICOM 宣言とカリブ海諸国の是正要求に対して回答を拒否。</li> <li>・グラスゴー大学は、初期の資金調達の際、助成金の多くがカリブ海の奴隷制と奴隷貿易による収益から得られていることを知り、2019年に是正のための2000万ポンドのプログラムを開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年の裁判で、マウマウの支援者たちはイギリス政府を訴える権利が与えられたが、証拠や証人がおらず裁判の見込みがなかった。</li> <li>・ヘイグ (William Hague) 外務大臣 (当時) は、英国政府を代表し、マウマウ蜂起の鎮圧に対する法的責任を否定した。しかし、それに代わる道徳的な是正として、植民地政府の不当な扱いを公に認め、虐待を反省し、生存している犠牲者への補償を約束した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年にマクロン大統領のイニシアチブは、革新的なことだったが、実際にはあまり進展していない。</li> <li>・返還に対して多くの障害がある。フランスの法律では、フランスの公的な美術館のコレクションは「不可侵 (inalienable)」とみなされており、美術館は保持したいと考えている。</li> </ul>

(1)→過去の不正に関与した国家以外の機関も是正の義務を負う可能性がある。かつての不正と搾取、あるいは現在の富と貧困のギャップという歴史的なつながりによって正当化される。

## 6 Historical Justice and Historical Consciousness (p.209-)

- ・現在の社会を理解するためには、歴史的な知識が必要である。特に、歴史的な不正については。
- ・過去の残虐行為は、被害者の記憶の中だけでなく、様々な形で今日もなお続く不正を示している。歴史的正義の主張は、歴史を学習する上での有効な入口を提供する。

Ex. マウマウの支援者の主張→アフリカの植民地主義

CARICOM 宣言→大西洋三角貿易とグローバルな経済の歴史

- ・「過去、現在、未来の間につながりを作り出す能力」(Thorp, 2013) である歴史意識の育成
- Ex. ケ・ブランリ美術館の訪問→なぜ(展示が)ここで終わるのかという問い。その答えは、過去の不正と現在の展示とを結び付ける。
- ・歴史的正義の問題は、正義とは何か？なぜ重要か？紛争や戦争はどのように解決されるのか？紛争後の社会における和解と平和のための要件は何か？などの倫理的な論争をもたらす→哲学や宗教などのコースにおける倫理教育に用いることができる。
- ・歴史的正義の論争や是正の主張はさまざまな教科と関連性がある。そのため、教科を超えた取り組みを行うことが考えられる。そのほかに、美術教育、文学にも影響を与える。

## 7 結論 (p.210)

- ・本章の主張：歴史的正義の学習には学際的な協力が必要である。
- ・歴史的な過ちの是正を求める主張は、論争を引き起こし、歴史に対する解釈の相違を示す可能性に従って、歴史的な調査が求められる。
- 一方で、是正的正義と救済のための主張を評価するには、歴史的知識だけでは不十分→倫理的な考察と分析が求められる。
- ・歴史的正義を教えることは、生徒の歴史意識を高め、正義、公平、和解といった重要な政治的価値の道徳的な反省と倫理的な分析の必要性を示すことができる。

\*参考引用文献は原文を参照